

公判手続と調書講義案(三訂補訂版)



監修 : 裁判所職員総合研修所
 定価 : 本体 3,620 円 + 税
 判型 : B5 判
 ページ数 : 436 ページ(本文 400 ページ)
 ISBN : 978-4-906929-70-2
 発行 : 平成 30 年 6 月

内容

平成28年6月に刊行した三訂版に新たに「犯罪被害者等及び証人等の氏名等を公開の法廷で明らかにしないための措置」の説明、強姦罪の構成要件及び法定刑を改める等「刑法の一部を改正する法律」、刑事手続における証拠の収集方法の適正化等「刑事訴訟法等の一部を改正する法律」、営業秘密の秘匿決定等「刑事訴訟規則」等の施行に伴う条文等の加筆修正されたものです。本書は、公判調書について詳細な解説がされ、巻末には、参考資料として公判調書や証拠等関係カードの記載例が多く掲載されています。裁判所職員総合研修所の教材として長く使用されているもので、刑事実務に携わる方々にとって必携の一冊です。

目次(抄)

第1章 公判調書の本質	第4 次回の公判期日までに公判調書が整理されなかった場合の当事者の権利	第4 署名押印, 認印
第1節 公判調書の意義	第5 整理期間経過後に整理された公判調書の効力	第5 公判前整理手続調書の整理
第2節 公判調書作成の必要性	第6章 公判調書等の閲覧・謄写	第6 公判前整理手続調書に対する意義申立て等
第3節 公判調書の証明力	第7章 公判調書の正確性の保障	第7 記録の編てつ方法
第2章 公判調書の作成者	第1節 総説	第8 公判前整理手続の結果の顕出
第3章 公判調書の署名押印・認印及びその他作成に関する方式	第2節 証人の供述の要旨の正確性についての異議申立て	付録
第1節 裁判所書記官の署名押印	第3節 公判調書の記載の正確性についての異議申立て	1 公判調書の記載例(手続調書及び供述調書)
第2節 裁判長の認印	第8章 民事上の争いについての刑事訴訟手続における和解	2 証拠等関係カードの記載例
第3節 公務員が作成する書類としての記載	第1 制度の趣旨	3 公判準備における証人尋問手続と調書
第4章 公判調書の記載事項	第2 申立人	4 刑事訴訟記録の編成等について
第1節 総説	第3 公判調書への記載申立ての要件	5 5分方式による記録編成一覧表
第2節 公判調書の仕組み	第4 立件	6 証拠等関係カードの様式等について
第3節 公判調書の冒頭の記載	第5 審査	7 証拠等関係カードの記載要領について
第4節 公判期日における訴訟手続と公判調書の記載	第6 公判調書に記載しない措置	8 証拠等関係カード等に関する通達の解説
第5節 被害者参加	第7 公判調書の記載事項及び作成方法	9 刑事訴訟規則の一部を改正する規則の施行に伴う書類の訂正の取扱いについて
第6節 公判期日における勾留理由開示手続と公判調書の記載	第9章 公判前整理手続調書	10 公判前整理手続に付された事件における証拠等関係カードの一括記載について
第7節 公判期日における制裁手続と公判調書の記載	第1 公判前整理手続調書の意義	
第5章 公判調書の整理	第2 記載事項	
第1 整理の意義	第3 公判前整理手続期日における事実の取調べと公判前整理手続調書の記載	
第2 整理期間		
第3 迅速な整理が要請される理由		